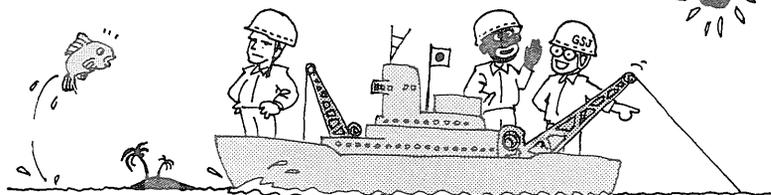


海外室だより



No. 17

海外で正月を迎えるGSメン

当所職員の海外渡航は今年も多く 海洋調査を除いても 1月以降10月末日まで 延べ30名を超えています。近年の傾向として 国際会議や技術協力など1ヶ月未満の短期出張者が多く 1年以上に亘る在外研究員や長期派遣専門家の比率は少なくなってきています。そうした中であって 以下の職員は今年度の年末年始を海外で過ごすことになります。とはいえ すでに何度も外国の門松をくぐった猛者ばかりで 海外での正月に対する感慨も薄いことでしょうか。長期在外職員を本欄で紹介する機会がありませんでしたので この機にまとめてみることにしました。

平山次郎 海外室主研

任地 CCOP パンコック タイ
 期間 1984. 4. 10-1987. 4. 9.
 目的 地質調査技術指導
 経費 JICA (国際協力事業団)

CCOP (アジア沿海地域鉱物資源共同探査調整委員会) 事務局への専門家派遣は1967年6月から始められ 平山技官はその7代目に当り 当所でも最も国連への貢献度の高いポストです。平山技官は ソ連 サウジアラビア ネパールと すでに10回以上も海外の年越しを経験している強者で 今年も家族揃っての暑い正月を迎えようとしています。

太田英順 北海道支所鉱床課主研

任地 MTA アンカラ トルコ
 期間 1985. 3. 26-1987. 3. 25
 目的 金属鉱床調査
 経費 JICA

雪深い北海道支所から JICA 専門家として MTA (トルコ鉱物開発調査研究所) に家族共々赴任しています。アンカラは札幌に負けず劣らず寒い所のように 正月の気候的異和感は少ないのではないかと思います。MTA への専門家派遣も1966年から綿々と続いている伝統ある技術協力です。

川幡穂高 海洋地質部海洋鉱物資源課

任地 トロント大学 トロント カナダ
 期間 1985. 9. 5-1987. 9. 6
 目的 熱水鉱床の研究
 経費 トロント大学

昭和59年度新規採用で入所し 60年にトロント大学へ出かけてしまったので 所内では顔見知りが少ないかも知れません。大学時代の能力は高く評価され カナダ西岸海域 地中海キプロス島付近 南米ガラバゴス海域と航海調査に東奔西走し 着々と成果をあげています。帰国後の活躍が楽しみです。

茂野 博 地殻熱部地殻熱資源課主研

任地 USGS メンロ・パーク USA
 期間 1985. 10. 1-1978. 9. 30
 目的 深部地熱貯留層の化学的探査・評価法の研究
 経費 JICA

JICA の長期在外研修員として 米国地質調査所メンロパーク支所で研究しています。メンロパークには 当所から地質部の久保技官 (11月帰国予定) 環境地質部の佃技官 (10月出発) も滞在していますので 滞米先輩として公私共に忙しいことでしょう。野外調査・研究のため メキシコにも時々かけています。

高橋 清 元技術部地球化学課主研

任地 RMRDC バンドン インドネシア
 期間 1986. 1. 13-1988. 1. 12
 目的 地球化学探査技術指導
 経費 JICA

本年1月1日付で退職され JICA 専門家として RMRDC (地域鉱物資源開発センター) のあるバンドンへ赴任しました。海外歴はサウジアラビアに9年 タンザニアに3年の超ベテランで むしろ正月が寒かったり お餅があったりしたら面喰うほどのコスモポリタンです。任地には常に奥様同伴の愛妻家でもあります。

藤井紀之 鉱床部主研

任地 CFM オアハカ メキシコ
 期間 1986. 6. 8-1988. 6. 7
 目的 未利用硫化鉄開発技術協力
 経費 JICA

昭和59年10月から本年3月まで海外室長を勤めておりましたので 海外には多数の知己を持っています。在外勤務はサウジに3年 トルコに3年と砂漠にすっかり馴染んでおり 同じく乾燥地帯のメキシコ CFM (鉱山国営企業省鉱業振興公社) で迎える 正月も全く苦にならないことでしょう。お子様達はみな巣離れし 奥様同伴でフルムーンメキシコ版をエンジョイしています。

佃 栄吉 環境地質部地震地質課主幹

任地 USGS メンロ・パーク USA
 期間 1986. 10. 12-1987. 10. 11
 目的 活断層の活動性評価の研究
 経費 科学技術庁

今まで御紹介してきた超ベテランの方々とは違って 佃技官は今度の在外研究が初めての長期海外生活となります。今頃はホームシックに悩んでいるかも知れません。しかし前出のように 茂野 久保の両技官と同じ

場所でもあり その点は心強いことでしょう。原子力関係留学生は 当所にとってはおよそ20年振りのことになります。

高橋裕平 地質部岩石地質課

任地 南極圏
 期間 1986. 11. 14-1987. 4. 20
 目的 セールロンダーネ山地の地質調査
 経費 文部省

第28次南極観測隊夏隊員として当所からは第1次以来2度目の南極観測参加です。今年7月に中国出張所から地質部に移りました。持前のファイトで南極の石をゴッソリ持帰り 標本館の展示に華を添えてくれることが期待されています。

以上の人達の他に 今年3月に退官された元鉱床部主幹の竹田英夫さんが JICA の長期派遣専門家として12月の半ばにヴェネズエラへ2年間の予定で出発することになっています。

よいお年をお迎え下さい。

(桑形 遠藤)

飛騨外縁帯 中央構造線

キュッパースさんのこと

まず上の漢字を御覧下さい。飛騨外縁帯 中央構造線 いずれもわれわれには最もポピュラーな名前ですが漢字で書くとなると結構難しい字です。この字は本欄で御紹介する Mr. Andreas Küppers に書いてもらったものです。筆順も正しく 字も私よりも上手なので実は内心じくじたるものがあります。

さて キュッパースさんは1954年(昭和29年)大聖堂と香水で有名な西ドイツ ケルンで生れ 1981年にボン大学を 1984年にアーヘン大学修士課程を卒業しています。専攻は地質学 古生物学です。因みに香水のオーデコロンは ケルンの水を意味しています。キュッパースさんは卒業後 州立地質調査所(クレフエルト) エシュバイラー市市民大学講師などを務めたのち 西ドイツ学術交流会の奨学金を得て1985年9月に来日 東京日本語学校での1年間の日本語学習の成果が上記の文字です。9月29日に当所に来られ 地質部層序構造課(612)滝沢課長の隣に机を置いて 微化石層序学の研究に来年6月まで従事する予定です。キュッパースさんは英語



も大変上手ですし 日本語も1年間でほぼ自由に読み書きできるようになっています。そばで悪口を言うのでしたら 日英独以外の言葉を使わないと皆わかってしまいますから注意して下さい。ケルンではオーケストラ(アマチュア)の一角でコントラバスを弾いていた文化人でもあります。多芸の彼も 土浦の西郊のアパートのひとり住いでは心淋しいことも多々あることでしょう。機会があったら是非いろいろなことに誘ってあげて下さい。できるだけ沢山のフィールドを歩き また日本語の報告書を自在に読みこなせるようになるのが 当所での研修目標だそうです。皆さまの御配慮と御協力をお願いいたします。

(桑形)